

●漁業就業支援フェアとは

◆誰でも気軽に参加することができ、漁業についてまるごとわかるフェアです

- ・すでに漁師になる準備が出来ている人から、漁業に興味・関心があり選択肢のひとつとして漁業を考え始めたばかりの人、まずは漁業を知ってみたい人まで、誰でも気軽に参加することができます！

※本日のフェアは面接ありきではありません。まず漁業に興味がある方は各ブースにて漁業の内容等をお気軽にご質問して下さい。

◆『新人漁師を募集している漁協・漁業団体』と直接、話をする場

- ・現場の漁師や漁協職員等から、“リアル”な漁師生活について聞くことができる！

◆フェアでマッチングした場合は、研修制度が活用できる

- ・まずは研修生として、漁師になるための技能やノウハウを地域で直接学ぶことができるので、未経験者でも大丈夫！
- ・研修生になるための3つの条件

- ①漁業未経験者であること（1年以内の経験なら可）
- ②受入漁業者と親戚関係にないこと（3親等以内）
- ③研修終了後、必ず研修先に就業すること

～漁業研修生になるための注意点～

1. 研修期間が長いので、しっかり意志を固めた上で研修に入ること。中途半端な気持ちで研修に参加すると挫折する可能性が高い。
2. 研修内容、研修中や就業後の待遇、生活環境等を受け入れ先と十分に話し合い、しっかり確認してから研修に入ること。
>>詳細につきましては、P4「出展団体ブースでの面談について」をご覧ください。
3. 研修候補生として採用される場合は、後日受け入れ先から連絡があります。本日面談で確認した研修内容が自分に合うかしっかりと考え、納得した上で研修に入ること。
4. 研修生には、一定のアルバイト代が支払われたり、その他、研修地までの移動費、住宅手当などの補助が受けられることもありますので、研修に入る前に確認すること。

※研修に入るに当たり、研修中の条件等について研修先の漁業者との間で事前にしっかり話し合い、後でトラブルが起こらないようきちんと取り決め、確認のための文書を作成してもらって下さい。

フェア終了後について

●フェア参加～フェア終了後の流れ

フェア参加(本日)

興味や関心をもった出展ブースを訪問して、漁師さんの生の声を聞いてみる。

研修生になるためには、受入団体と面談して双方の合意が必要となります。

研修候補生の連絡(フェア終了後)

研修候補生として採用される場合は、受入機関(出展団体)から直接皆様へご連絡をいたします(目安としてフェア数日後)。

※採用されなかった場合には、連絡等はありませんのであらかじめご了承ください。ただし、出展漁業と連絡を取り合いながら、数か月後に受入機関から採用等のご連絡がいく場合があります。

最終の意思確認(研修開始日、引越し日などの調整)

研修を経て漁師になる最終の意思を確認した上で、研修開始日や引越し日などを調整します。

現地での漁業研修 スタート!

座学研修

(一次受入機関:漁協・業種別組合)

実践研修を始める前に、地域の漁業の概要や、船上作業の内容、注意点など漁業のいろはを学びます。



漁労技術研修

(二次受入機関:漁家・漁業会社)

研修生が漁師になるための技能・技術を学ぶ漁業現場での実践的な研修です。

研修期間等は受入機関により異なります。



漁師として就業

【参考】出展団体ブースでの面談について

出展団体ブースでは、受付時にご記入いただきましたコミュニケーションカードの内容をもとに、漁師さんとお話しをしていただきます。その際には、研修中や就業後の条件等をしっかりと確認してください。

下記に面談時に確認したほうが良いと思われる項目についてまとめましたので、参考にしてください。

本日のように、複数の漁師の方や関係者等が集まる機会はありません。以下の項目を参考に、1ブース当たり20分程度と効率良く、積極的に多くのブースを訪問することをオススメします！

▼面談での確認項目

どういう研修内容なのか？

- 研修する漁業の内容→
 - 1日の操業→
 - 年間の操業→
- ・ どのような魚をどんな方法でいつ獲るのか、餌は何か
 - ・ 出港前の準備は、いつ出港し、いつ魚を獲り、いつ帰港するのか、船酔いはどうか
 - ・ 帰港後に何をするのか、仕事の終わりは何時か
 - ・ いつ食事をとるのか、寝る時間はあるのか
 - ・ いつからいつまで操業するのか（休漁期間はあるのか）
 - ・ 1年中同じ漁業をやるのか
 - ・ 研修生として始めにやるのはどんな作業か
 - ・ どの作業が難しいか
 - ・ 危険な作業があるのか
 - ・ 1人前になるまで何年かかるのか

どのような生活スタイルなのか？

- 研修中、就業後の待遇→
 - 住環境→
 - 生活環境、人間関係→
 - 支援内容→
- ・ 賃金はいくらか
 - ・ 支払日はいつか、労働時間はどれくらいか
 - ・ 休日はあるのか、いつとれるのか
 - ・ 住居はあるのか、家賃はいくらか
 - ・ 生活環境はどうか、遊び場はあるのか
 - ・ 漁村の人間関係はどうか
 - ・ 保険に入るのか、どんな保険か

※研修制度の内容については、「就業フェアのスタッフ」がご説明します

▼漁師の仕事について

漁師の仕事のメリット	漁師の仕事のデメリット
自然の中で仕事ができる 本物を実感できる 仕事の達成感が味わえる 大漁の喜びが味わえる 人間関係が濃密	仕事時間、休日が不規則 夜と昼が逆転 給与が不安定 3K度合いが高い 大人の遊び場が少ない

漁業を仕事にしたい人のための就業情報サイト

漁業を仕事にしたい

●全国漁業就業者確保育成センター「漁師.jp」

URL : <http://ryoushi.jp>



携帯の方はこちら →

